

平成27年度 県弓道大会要領

旧事業運行要領

自平成27年4月

至平成28年3月



埼玉県弓道連盟競技委員会

はじめに

この事業運行要領は、紙面の都合もあり、その基本的要件についてのみ掲載したので、次の事項ご留意の上ご協力の程、宜しくお願い致します。

記

1、参加資格 県内大会は、特別な大会を除き、埼玉県弓道連盟の一般会員であること。

2、この要領の中で、プログラムを作成しない大会の審判員は、次の様をお願い致します。

審判長 埼玉県弓道連盟会長
審判員 顧問、副会長、正副理事長、常任理事、支部長、
会長から任命された方
的前審判 的前係

3、各系の業務分担については、次の事項ご留意の上、ご協力願います。

総務係 受付、接待担当。受付は当日の出欠・変更を記録して競技前に各係りに連絡する。使用セッソンの管理も行う。
招集係 射場で円滑に競技ができる様に、進行係・記録係と密接な連携をとり選手を導く、弦巻の管理も行う。
進行係 射場内で競技の進行全般を担当する。招集係・記録係・的前係と密接な連携をとり競技を進める。
記録係 競技上の問題が生じた場合には一時競技を停止し、競技委員長・審判長等の判断のもと競技を進める。
的前係 的前係と密接な連携をとり中・得点を適切に記録する。掲示板の用紙に記録する。全記録結果表を大会終了後に競技委員長に提出する。
的前係 的中・得点を適切に判断を下し、安全を確認し射場に明確かつ速やかに伝える。競技前に塚の清掃・的付け、的中表示盤の点灯確認等をする。

競技終了後、総務係・進行係は選手控室をそして招集係・記録係は射場内外の清掃・整備をする。的前係は塚の清掃・的張りをする。

4、競技委員会は大会案内、申込書等を各支部担当者を通じて支部長に送付する。

各支部担当者は支部長の指示に従って参加者を競技委員会に連絡する。競技委員会は申込書をもとに大会表を作成する。原則としてID申込みとする。

競技の運営、運行にあたりましては各支部選出の競技委員を中心に、各支部の選手の積極的な参加のもとに、大会が滞りなく終了することにご協力を賜りますようお願い申し上げます。
なお、会場使用にあたっては、備品の利用等で借用先に迷惑をかけないよう、競技委員並びに選手一人ひとりが心を配り、次の利用者が気持ち良く利用できるよう整理整頓をすることを常に心掛けるようお願い申し上げます。

埼玉県弓道連盟競技委員会
委員長 岡芹喜行

平成27年度 県弓道大会要領 埼玉県弓道連盟競技委員会

月日(曜) (開館・開始)	競技会名 (実施会場)	大会運営行
平成27年 5月13日(水) 6月11日(木) 6月30日(火) 9月24日(木) 開館時刻 (9:00)	全国健康福祉大会 <small>(ねんりんピック)</small> 県連予選会 開館8:30 ねんりんピック錬成会 同上 同上 県立武道館 [上尾市]	○4月上旬に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。 射数は12射、3人立、4射場で一手6回・坐射で行う。 60才以上、各支部で別途送付する要項に基づき、 参加者を募集し競技委員会に報告する。 射行は当日決定、大会運営等は、参加選手相互の協力で行う。 選手7名(内女子2名・70才以上1名を含む)選出し、その内1名 を監督とする。(集合時間9:00、開始9:30) チームは埼玉県及びさいたま市の2チームを決定する。
5月23日 (土) 開館時刻 (8:00) 開始時刻 (9:30)	埼玉県弓道選手権 等大会兼各種選考会 【称号者の部】 県立武道館 [上尾市]	○4月中に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。 竹弓、竹矢を使用のこと。 射数は6射、3人立、4射場で一手3回・坐射で行う。 入賞は、5位迄・賞状は3位迄授与する。 全弓連会長楯争奪戦は、6射4中以上の者の射詰で行う。 前年度優勝者には、レプリカを授与する。 関東・三県選抜弓道大会出場候補者及び全日本選手権 大会関東地区選考会出場者を、男女10名程度を選出し、 後日予選会を行う。(5月30日(土) 県立武道館にて) 連絡の都合上、予選通過者及び補欠者の住所・氏名・ 電話番号等を記録しておくこと。 総務 = 県央支部、 招集 = 秩父支部、 進行 = 東部支部、 記録 = 県南・西部支部 的前・的張 = 中部・県北支部 介添 = 県央支部
5月24日 (日) 開館時刻 (8:30) 開始時刻 (9:30)	同上 【有段者の部】 県立武道館 [上尾市]	○4月中に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。 射数は6射、3人立、4射場で一手1回4ッ矢1回・坐射で行う。 表彰は、4・5段及び3段以下の部の2種別とし、 入賞は、5位迄、賞状は3位迄授与する。 全弓連会長楯争奪戦は、6射4中以上の者の射詰で行う。 前年度優勝者には、レプリカを授与する。 関東選抜弓道大会及び 三県選抜弓道大会4・5段及び3段以下の部出場候補者を 各10名程度を選出し、後日予選会を行う。(5月30日(土) 県立武道館にて) 連絡の都合上、予選通過者及び補欠者の住所・氏名・ 電話番号等を記録しておくこと。 総務 = 県央支部、 招集 = 秩父支部 進行 = 県北支部、 記録 = 東部・中部支部 的前・的張 = 西部・県南支部 (矢渡し、無し)

月日(曜) (開館・開始)	競 技 会 名 (実 施 会 場)	大 会 運 行
5月30日 (土) 開館時刻 (8:30) 開始時刻 (9:30)	全日本弓道選手権 大会等選考会 県立武道館 [上尾市]	○5月23日、24日の県選手権大会において選出された選手をもって二次選考会を行う。 立順表を作成する。 5人立、2射場で行い射技の採点と的中数を加味して選出する。 射数は当日決定する。 全日本選手権出場候補選手を男女各3名ずつ選出する。 関東選抜選手権出場候補選手を称号者、有段者各5名ずつ選出する。 群馬・栃木・埼玉 三県選抜大会出場候補選手を称号者、4・5段、3段以下の選手をそれぞれ5名ずつ選出する。 県南・県央・東部支部の競技委員で役員を構成すること。
6月3日 (水) 開館時刻 (8:00) 開始時刻 (9:30)	第27回埼玉県実年者 弓道選手権大会 県立武道館 [上尾市]	○4月中に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。 参加資格 60才以上(4月1日現在) 射数は10射、一手1回、4ツ矢2回・坐射で行う。 入賞は、5位迄・賞状は3位迄授与する。 総務 = 東部支部、 招集 = 西部支部 進行 = 県南支部、 記録 = 中部・県北支部 的前・的張 = 県央・秩父支部 介添 = 東部支部
7月11日 (土) 開館時刻 (8:00) 開始時刻 (9:30)	第27回埼玉県弓道 遠的選手権 等大会 県立武道館 [上尾市]	○5月中に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。 種目種類 遠的60m個人競技 種 別 男子の部 : 5段以上、4段以下。 女子の部 : 5段以上、4段以下の4部門とする。 全日本遠的選手権大会参加選手区分による。 競技方法 射行は100cm霞的使用、立射・一手1回、 4ツ矢2回 計 10射。(5段以上は、竹弓を使用のこと。) 入 賞 各部3位まで、賞状を授与し、各部最高の中者をもって競射し、優勝者には、選手権賞を授与する。 全日本遠的選手権大会出場者の選考に男女10名程度を選出し後日予選会を行う。(7月12日(日) 県立武道館にて) 県南・県央・東部支部の競技委員で役員を構成すること。 全日本遠的選手権大会出場者は、射品・射格を加味し、該当選手に通知する。 総務 = 東部支部、 招集 = 県南支部 進行 = 西部支部、 記録 = 県央・秩父支部 的前 = 中部・県北支部 介添 = 中部支部

月日(曜) (開館・開始)	競 技 会 名 (実 施 会 場)	大 会 運 行
7月12日 (日) 開館時刻 (8:30) 開始時刻 (9:30)	第66回全日本弓道遠的 選手権大会出場選手 二次選考会 県立武道館 [上尾市]	○7月11日の県遠的選手権大会において選出された選手を もって二次選考会を行う。 立順表を作成する。 距離は60m、79cm霞的を使用する。 4人立、2射場とし、一手1回、4ッ矢1回を行い、休憩後に 一手5回を行い、射技の採点と的中数を加味して選出する。 男女各3名づつ選出する。 県南・県央・東部支部の競技委員で役員を構成すること。
7月18日 (土) (9:30)	第28回埼玉県民総合体育大会 【弓道中学生の部】 兼 第11回全国中学生 弓道大会埼玉県予選会 秩父第1弓道場 [秩父市]	5月中に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。 運営及びプログラムの作成等は競技委員会で行う。 大会役員は、秩父支部長、秩父支部会員及び各中学校等 の弓道部顧問が当たる。 成績結果を、全弓連及び県体本部に送付する。 介添 = 秩父支部
9月6日 (日) 開館時刻 (8:00) 開始時刻 (9:30)	第53回埼玉県勤労者 弓道選手権大会 県立武道館 [上尾市]	7月中に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。 参加資格 埼玉県弓道連盟会員で、勤労者であること。 (勤労者の適否は、各支部長の判断によるものとする。) 競技方法 3人1チームとし、団体12射(各自4射)的中上位 32チームを予選通過とする。 決勝トーナメント戦:団体6射(各自2射)同中の 場合は、各自1射の競射とする。 個人戦は団体予選の的中をもって、個人の成績 とし、4射3中以上の者をもって射詰めを行う。 行射時間制限を採用する。 入 賞 団体3位まで、(3位 2チーム)個人10位まで。 技能賞若干名は個人決定戦の中より選定する。 総務 = 県央支部、 招集 = 秩父支部、 進行 = 中部支部、 記録 = 県北・県南支部 的前・的張 = 東部・西部支部 介添 = 秩父支部

月日(曜) (開館・開始)	競 技 会 名 (実 施 会 場)	大 会 運 行
9月27日 (日) 開館時刻 (8:30) 開始時刻 (9:30)	第28回埼玉県民 総合体育大会 【弓道・一般の部】 近的・遠的 県立武道館 [上尾市]	<p>○7月中に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。 各支部で予選会を行い、参加人員と予選通過者を、競技 委員会宛報告(参加申込書を送付)する。 競技の種別は、女子、3段以下、4・5段、及び称号者の部、 の4部門とする。 選抜は原則として、同一市町村名とする。但し、選手不足の 場合は支部内であれば他市町内の道場との併合も可とする。 種別毎3チーム以内(同一市町村複数でも可)とし、その選考は 当該支部の任意とする。</p> <p>立 順 近的競技は、 3段以下 称号者 女子及び 4・5段の部の順に行う。 遠的競技は、 女子 4・5段 3段以下及び 称号者の部の順に行う。</p> <p>競技方法 近的競技は、的中制による団体は12射(各自4 射)とする。個人は団体競技の個人成績による。 遠的競技は、得点制により、団体・個人とも射数 等は、近的競技と同じ。 行射時間制限を採用する。</p> <p>表 彰 近的・遠的とも、団体3位、個人3位まで、賞状を 授与する。</p> <p>総務 = 東部支部、 招集 = 中部支部 進行 = 県北支部、 記録 = 西部・秩父支部 的前・的張 = 県南・県央支部 介添 = 県南支部</p>
11月22日 (日) 開館時刻 (8:00) 開始時刻 (9:30)	第13回埼玉県武道大会 【弓道大会】 県立武道館 [上尾市]	<p>○8月中に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。 競技方法・中学生は、個人戦とし、支部対抗は高校男・女、 一般男・女各5名で構成し、各自四ツ矢2回の的中総数を もって順位を決定する。 個人戦は団体戦の個人成績をもって順位を決定する。 尚、団体戦は行射時間制限を採用する。 賞状・賞品等は団体、個人ともに3位まで。</p> <p>総務 = 県央支部、 招集 = 秩父支部、 進行 = 東部支部、 記録 = 県南・西部支部 的前・的張 = 中部・県北支部 介添 = 県北支部</p>

月日(曜) (開館・開始)	競技会名 (実施会場)	大会運 行
平成28年 1月10日 (日) 開館時刻 (8:30) 開始時刻 (9:30)	埼玉県弓道連盟新年初射 ・昇段昇格者披露及び 優秀選手表彰 県立武道館 [上尾市]	○11月中に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。 巻藁射礼 矢渡し 一ツ的射礼 持的射礼 祝射 一手皆中者は射詰で、順位を決定する。 入賞 有段者・称号者とも5位まで、賞状は3位まで 授与する。 昼食、蜜柑等は、埼玉連で準備する。 総務 = 東部支部、 招集 = 県南支部 進行 = 県央支部、 記録 = 西部・県北支部 的前・的張 = 中部・秩父支部 介添 (巻藁) = 県北支部 介添 (矢渡し) = 西部支部
3月6日 (日) 開館時刻 (8:30) 開始時刻 (10:00)	神奈川・埼玉県弓道 指導者交歓親善射会 県立武道館 [上尾市]	1月末日に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。 参加資格 称号受有者。 5人立、2射場にて行射する。 射数は参加人数により決定。 参加費 1,000円。 昼食は埼玉連で用意する。
3月13日 (日) 開館時刻 (8:30) 開始時刻 (9:30)	全日本勤労者大会 埼玉県予選 県立武道館 [上尾市]	1月末日に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。 射数は、4ッ矢3回の12射で行う。 2位及び4位の同点競射は各自一手で行う。 競技方式により、的中上位の2チームを、予選通過(埼玉県 代表)とする。 予選通過の事業所等に、当該大会要項及び申込書を渡し、 開催地受付に参加申込みの手続きをさせる。 行射時間制限を採用する。 運営等は、競技委員会の全役員で執り行う。

行射時間

3人立	坐射	各自4射 7分30秒以内 各自2射 4分30秒以内
	立射	各自4射 6分30秒以内 各自2射 4分以内
5人立	坐射	各自4射 10分以内 各自2射 6分以内
	立射	各自4射 9分30秒以内 各自2射 5分30秒以内

(弓道競技規則 より)